

## こずっち会議@新富地域（報告）

■ 日 時 令和元年 1 1 月 2 3 日（土）午前 1 0 時から 1 2 時

■ 場 所 新富近隣センター 多目的ホール

■ 出席者 新富地域ふるさと協議会 8 名  
新富地域に住む若い世代 9 名

### ■ 趣 旨

平成 3 0 年度に柏市と各地域のふるさと協議会で、地域課題の検討を行なう「地域懇談会」を行ないました。この懇談会の中では、高齢化が進み、子どもの取り巻く環境も変化している現在、地域はもっと若い世代との連携が必要であるとの意見が多くありました。

事前に学校の御協力により、新富地域の小中学校の保護者へアンケートを行なったところ、日頃から地域のために活動をしてきている「ふるさと協議会」の認知度が低かったことも分かりました。また、ふるさと協議会も、若い世代の生の声を聞いてみたいとのことから、お互いを知り合うことを目的にまずは、「子どもが住みよい地域にするには」をテーマに、意見交換を行なったものです。

## こずっち会議（新富地域）報告書

### Aグループ

#### ■ 主な意見

##### 挨拶・顔のつながり

- ・おはようウィークというのがある。
- ・声かけしやすいまちづくり。
- ・シニアは積極的な方が多い。
- ・知ってるおじさん，知ってるおばんさんを子供が増やして欲しい。
- ・子供にとって知ってるおじさん，おばさんが増えたらいい。
- ・地域のおじさん，おばさんから子供に挨拶をしてくれるとよい。
- ・声をかけづらい時代になった。



##### 若い世代との関わり

- ・真ん中の世代が活動者として少ない。
- ・若い世代を巻き込んでいくのが重要。
- ・町会，ふるさと協議会は若い世代からすると入りづらい雰囲気（イメージ）がある。
- ・若い人が入ってくれるようなものが出来れば。
- ・若い世代が発言しても否定されることがある。
- ・やってくれる若い世代はいる。やる側が楽しまない！
- ・ふるさと協議会に「やる価値がない」と思ってしまった若い世代が多いかも。

##### 学校

- ・子供たちが来やすいのは「学校」
- ・「学校」は親も行きやすい。
- ・親が安心して送り出せるもの「学校」
- ・授業参観（5限）の前の昼休みとかに集まるとよいかも。
- ・学校からふるさと協議会を呼んでくれると行きやすい。
- ・「学校」が核になると思う。
- ・先生がいなくても学校は使える。

## 組織・イベント

- ・ 地域で子供を育てる。
- ・ 集まるメンバーが限られている（広がりがない）
- ・ 同じことの繰り返しではなく，時代にあった違うこともやっているとよい。
- ・ 子供会がなくなって，関わりが少なくなってしまった。
- ・ おやじの会などと横のつながりが生まれるとよい。
- ・ 決まった事業をこなしていくことで精一杯なところもある。
- ・ 地域のイベントに魅力があれば，人が集まる。
- ・ 関心がない人が多い（参加者）
- ・ 子供が楽しめるものってなんだろうか。
- ・ 移動交番の依頼はあるが…
- ・ 運動会が 31 回続いているのはよい。

## こずっち会議（新富地域）報告書

### Bグループ



#### ■ 主な意見

##### ふるさと協議会

- ・ふるさと協議会とのかかわり，イベントへの参加。
- ・ふるさと協議会に入ったきっかけは子ども会。若いうちに参加して可愛がってもらえた。
- ・世代間交流のためにふるさと協議会では行事をしているが，町会からの理解があまりされない。
- ・ふるさと協議会の運動会のお手伝いを通じて，その規模と参加者の多さに感動した。
- ・ふるさと協議会として，子供たちをバックアップしていく活動をしていきたいが，学校とふるさと協議会，つながりにくい。
- ・学区とふるさと協議会エリアの違いがあるので運営しにくいところがある。
- ・高齢者ではなく，子どもの支援に力を入れたい。（ふるさと協議会）
- ・高齢者向けのサロンの立ち上げを考えているとのこと，高齢者にこだわらなくてよいのでは？（多世代交流に向けて）
- ・防災については，ふるさと協議会ではなく町会単位でやっているが参加者が少ない。

##### 子ども会

- ・子ども会と学校のつながりはない。あくまでも町会の下部組織的。
- ・子ども会は町会ベース。なかなか人が入らない。イベントがいつも同じ。
- ・子ども会は女性中心になっている。
- ・昔は近隣センターで上映会やっていた。負担がかかるため子ども会のイベントもどこかへ連れていくようになってしまっている。
- ・子ども会では広報活動はあまりしていない。子ども会を（親子の）居場所にできたらいいな…
- ・子ども会での活動，親も子も楽しめるものであるべき。

### P T A ・ おやじの会

- ・ 男性で地域で活動されている人多い（おやじの会）。
- ・ 学校からのメールは，お父さんは受け取っていないので情報が入ってこない。おやじの会ではL I N E グループがあるので入ってくる。
- ・ P T A ・ おやじの会も学校によって活発さが異なる。仕事しながらの活動は継続するのが大変。
- ・ おやじの会はしぼられない活動なので，やりやすい。

### こどもの関わり

- ・ 中学生は部活や塾で忙しく，なかなか参加してもらえない。
- ・ 子どもが多いからこそ「誰かがやるだろう」となっている。人材は豊富なはず。
- ・ 地域の活動に協力的でない人はあまりいないと感じる。
- ・ 長期休みの子どもへ支援が必要だと思う。地区社会福祉協議会に協力してと言われたから意見を言ったのに，その後どうなったのか…
- ・ 未就学児，未就園児への支援が抜けおちている。

### その他

- ・ 「安全安心」という言葉に縛られると負担が増える（仕方がないけど）
- ・ 同じ町会なのに顔を知らない人多い。
- ・ 子供が少ないということはない。多い。一人っ子あまりいない。

## こずっち会議（新富地域）報告書

### Cグループ



#### ■ 主な意見

##### ふるさと協議会

- ・ふるさと協議会という大きな組織でイベントを企画してくれると助かる。
- ・ふるさと協議会のイベントを子供が楽しみにしている。→地域の大人に褒めてもらうのがうれしい。
- ・子供を見守ってくれる大人がいて助かっている。（共働き多いので）
- ・子供の見守りについて知りたい。→週に1～2日？
- ・見守りの仕方が難しい。
- ・ふるさと協議会の運動会はありがたい。
- ・「大変」「忙しい」というイメージがどうしても強い。

##### こどもの自立・居場所

- ・子供の意見を聞く場もあるといいな。
- ・子供達にも決めさせる・まかせる機会が必要。
- ・子供ルームとかは大事。
- ・子供の遊ぶ場所が少なくなっている。
- ・子供に自由にしてもらおう。→大人がどれだけ見守れるか。
- ・放課後に子供の居場所がわかると良い。

##### イベント

- ・「知り合い」で声をかけあって参加することが多い。
- ・回覧板だけではなかなか新しいイベントに参加できない。
- ・イベントに行きたくないのは子供ではなく親。（笑）
- ・子供と一緒に参加できるイベントはありがたい。

##### 地域のつながり

- ・知り合いが増えると心強い。
- ・お互いに何かを求めるのではなく、自分から何かをやってあげら

れるような地域だと良い。もちろんみんなが負担なく。

- ・先生の負担を考えるとなかなか巻き込みづらい。
- ・親同士のふれあいがないと子供のふれあいができない。
- ・地域のつながりは子育てにもありがたい。
- ・活動もやってみれば、楽しいこともある。
- ・PTAに入ると地域のいろいろな情報が入ってくる。
- ・マンションだと回覧板が回ってこない。
- ・オヤジの会が活躍している。

## こずっち会議（新富地域）報告書

### Dグループ

#### ■ 主な意見

##### 子供が輝いているとき

- ・ 子供が好きなことをやっているとき。
- ・ 自由時間に好きなことをしてもらう。
- ・ 子供達がまつりのお手伝いをしていたとき。
- ・ 英語の授業→興味のあること、楽しそうだった。



##### ふるさと協議会・町会

- ・ ふるさと協議会のイベントシニア世代向けのイベントが多い。
- ・ 人と人をつなぐ人→町会が担っている。
- ・ 「ふるさと協議会」→地域をまとめる役。
- ・ 「町会」→小さな単位が動きやすいのでは？
- ・ 子ども会の復活→町会が介入する。
- ・ ふるさと協議会単位だと規模が大きくなりすぎ。
- ・ ふるさと協議会も大事だが「町会」活動が大事。
- ・ 頭で大変と思うが実際はそうでもない。
- ・ 役にかかわる事によって「地域」がわかってきた。

##### こどもの自立・居場所

- ・ 目をかけて手を出さない。
- ・ 家だけではなくそれ以外の世界にほうりこむことが大事。
- ・ 子供がどう思ったか？→「思い出」に残る→「町会・地域」への思いが強くなる。→大人になって地域で活躍できる。

##### イベント・地域のつながり

- ・ 子供と大人が一緒に参加する。
- ・ 色々な人とつきあえる環境が必要。
- ・ 「まつり」の時は、普段声をかけられない子供にも声をかけられる。→毎年子供の方から声をかけてくれるようになった。
- ・ 子供が「得意」なことを活かせるような「参加型」。

- ・ 子供のイベント→親を参加させて町会行事に入れる。
- ・ 子供が楽しむ前に大人も楽しむことが大事。
- ・ 大人・シニアのイベントでも子供が「参加」する機会を持たせる。
- ・ 世代を分けずに皆で行う。
- ・ 子ども会に入っているのも「女子」が多い。
- ・ 「子ども会」→子供の父親達も出てきてもらう。→活気が出る。
- ・ シニア世代が増えている⇔子供が減っている。

当日の様子

